

## 演習②（参考例）

**演習②-1** 顕在化している（本人、家族が直接伝えていること、意識することができる）生活上の困りごとは何でしょうか？その困りごとは何が原因となっているのでしょうか？

本人、家族が直接伝えていること	その困りごとは何の原因から生じているか
<p>本人) ①私は家のことも大丈夫だと思っているけど、みんなが心配する。</p> <p>夫) ①自分も腰の痛みが辛い。一つ一つに声を掛けなければならないので、妻と分担していた家事も自分がやるようになり、段々と大変になってきた。</p> <p>長女) ①母がお友達に会うなどの時間ができれば、父の負担も減るかもしれません。</p>	<p>本人) ①アルツハイマー型認知症による認知機能低下。</p> <p>夫) ①夫の身体機能低下。</p> <p>長女) ①介護力の低下（夫の身体機能低下と長女の就労）。</p>

演習②-2 潜在化している（本人、家族が直接訴えておらず意識することはできていないが、ケアマネジャーの専門的視点で困りごととなると考える）生活上の困りごとは何でしょうか？また、その困りごとは何が原因となっているのでしょうか？

ケアマネジャーとして考える困りごと	その困りごとは何の原因から生じているか
①本人の家事をしたいという気持ちが尊重されていない。 ②体の清潔が保てていない可能性がある。	①認知症の症状が進行している。 ②身体機能の低下と認知症の症状の進行。

**演習②-3** 本人、家族はどのような希望、要望を持っているのでしょうか？またそれを妨げている原因はなんなのでしょうか？

本人、家族の生活に対する希望、要望	それを妨げている原因
<p>本人) ①もっと家事のことも任せて欲しい。</p> <p>②もっと町内会や老人会に行きたいわ。</p> <p>長女) ①サービスを使って父を休ませたいと思う。</p>	<p>本人) ①認知症の症状の進行。</p> <p>②身体機能の低下と認知症の症状の進行。長女)</p> <p>① 夫の身体機能の低下による介護力の低下。</p>

### 演習②-4 今後の見通しを立てましょう。

<p>このまま生活が続けると本人、家族にどのようなリスクがあるか （根拠も合わせて記載する）</p>	<p>今後のリスクを避け、本人・家族の希望や要望に近づけるためには、どのような支援（サービス種別ではない）が必要か。</p>
<p>本人）①人との交流機会が減り、自宅での家事も制限されているため、認知症が悪化する可能性がある。</p> <p>②外出する機会がますます減っており、足腰が弱くなっている。移動中に転倒する恐れがある。</p> <p>夫）①介護負担が大きくなり、共倒れになる可能性がある。</p> <p>長女）①両親の介護負担から、長女の生活にも影響が出てくる。</p>	<p>本人）①人との交流機会を持つ機会をつくり、認知機能低下の進行を緩やかにしていく。また、自宅で支援しながら家事をすることで、本人が役割をもって生活できるようになる。</p> <p>②下肢筋力が向上させることで転倒リスクを軽減し、自宅での入浴や地域活動への復帰を検討することができる。</p> <p>夫）①外出機会をつくることで、夫の受診やレスパイトの時間をつくることができる。</p> <p>長女）本人の心身機能が向上し、夫婦での生活が安定することで、長女の支援量を減らすことができる。</p>

演習②-5 Aさんのニーズ（生活全般の解決すべき課題）を考えましょう

- ・夫婦で家事を行うことができる。
- ・地域活動に復帰できるようになりたい。
- ・人との交流を再開する。
- ・身体はいつもさっぱりしていきたい。